

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	本人の能力希望に応じての目的支援に取り組んでいるが、張り合いや喜びのある日々が過ごせるための継続的な支援に不足がある。	利用者と職員が共に楽しみ喜び、日々の暮らしのささえとなる支援の実施に取り組む。	野菜畑でハニーコーン、さつまいも、すいかを育て、その成長と収穫を楽しむ。	2ヶ月
2	26	ニーズの把握に努め、より、細やかな介護計画をたて、実施しているが計画段階においてカンファレンスに家族の思いが充分には生かされていない。家族の参加が得られていない。	カンファレンスへの家族の参加を得、家族と共に支援できる介護計画をたて、実践する。	①本人の誕生日のお祝いの日には家族を招待し、この機会にカンファレンスをさせていただき、家族の思いを組み込み、介護計画を作成する。 ②面会時に介護サービスの話題を積極的に提案し、家族の思いを反映する。	3ヶ月
3	6	身体拘束をしないケア実践は正しく理解しながら努めているが離室が頻繁な症状の利用者が多く生命に関わる。玄関や門の施錠は避け難く、鍵をかけた状況にある。	利用者の安全が確保され、かつ利用者にとって、へい害にならないことを基本に施錠の運用を模索する。	①運営推進会議での検討を継続し、地域、行政、家族など多くの方の意見を交え、方向性をさぐる。 ②検討会議での結果をとりまとめ行政との話し合いの場をもち、実践方法を具体化する。	12ヶ月
4	4	地域の自治会長や民生委員の理解が得られず、運営推進会議の目的が果されていない。	目的から少し角度を変えてあたらしい視点で益のある会議の運用を行う。	市町村、同業者との交流の場をホーム内の運営推進会議の場に置き、その中から、地域への理解や目的の達成へ向う。	4ヶ月
5					12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。